

ファイナンシャル・ウェルビーイング実現に必要な 金融経済教育と家計データの見える化

2025年2月13日（木）

ファイナンシャルプランナー
株式会社ウェルスペント
代表取締役 横田 健一

自己紹介：横田 健一（よこた けんいち）

ファイナンシャル・プランナー / 株式会社ウェルスペント 代表取締役

「フツ-の人にフツ-の資産形成を！」というコンセプトで情報サイト「資産形成ハンドブック」やYouTubeでの情報発信、家計相談、ライフプラン・シミュレーションの提供等を行っている

10刷, 2.15万部！

初の著書「新しいNISA かんたん最強のお金づくり」（河出書房新社、2023年6月発売）➡



【ライフイベント】1976年 静岡県伊東市生まれ、東京育ち。一女の父。結婚、留学、海外生活、独立・起業、自宅購入、住宅ローン借り換え、火災保険、生命保険、株式・投資信託、不動産投資、iDeCo、相続、介護、贈与、骨折（入院・手術、高額療養費）

【実績】（講師）野村金融アカデミー、ミライズ/LEC「FPの学校」、投資信託協会セミナー、金融機関研修、事業会社従業員向けセミナー等（執筆）マネーフォワード「MONEY PLUS」、野村 AM「NEXT FUNDS」、au AM「auのiDeCo」、楽天証券/トウシル、週刊東洋経済、週刊エコノミスト、Kinza Financial Plan、NewsPicks、DCプランナー会報誌、DCプランナー実務必携企画協力、CFP®資格標準テキスト改訂協力、FP 1級教本校閲、ファイナンシャル・ウェルビーイング検定監修

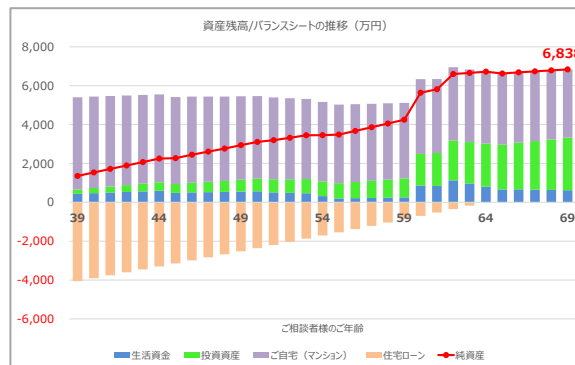
【職歴・学歴】2001年野村證券入社。金融派生商品の開発やトレーディング、企画を経て、退職。2018年2月 株式会社ウェルスペントを設立。都立青山高等学校卒業。東京大学理学部物理学科卒業。同大学院修士課程修了。マンチェスター・ビジネススクール経営学修士（MBA）

【資格・会員】CFP® / 1級ファイナンシャル・プランニング技能士 / 日本証券アナリスト協会 認定アナリスト / 住宅ローンアドバイザー / 2級DCプランナー / ウェルビーイング学会（ファイナンシャル・ウェルビーイング分科会） / 日本FP学会 / 日本年金学会

資産形成ハンドブックとFW検定



約320ページのPDF版資料が
無料でダウンロード可能です！



Excel も配布中！



YouTubeでも配信中！



冊子版も無料送付中！



Financial Well-Being

ファイナンシャル ウェルビーイング 検定



ウェブサイト



YouTube

自分らしく生きるための
お金との関わり方・向き合
い方を学ぶ検定です。



FW検定

ウェルスパント (well spent) って？

英語の“well spent”は

→ 「有益に使った」「有意義に過ごした」



Money **well spent** will buy twice its value.

金は使いようで倍にもなる – 斎藤和英大辞典

より多くの方に、貴重なお金や時間をウェルスパントして頂き、より幸せな人生を送っていただきたい！

最期に、「Life well spentだったなあ」と思えるように。

ウェルスペントについての3大問題意識

1. 現預金の割合が高すぎ

⇒ 期待リターンの高い資産への組み換え

(投資への適切な理解)

2. 民間生保に加入しすぎ

⇒ 生命保険の加入額の見直し

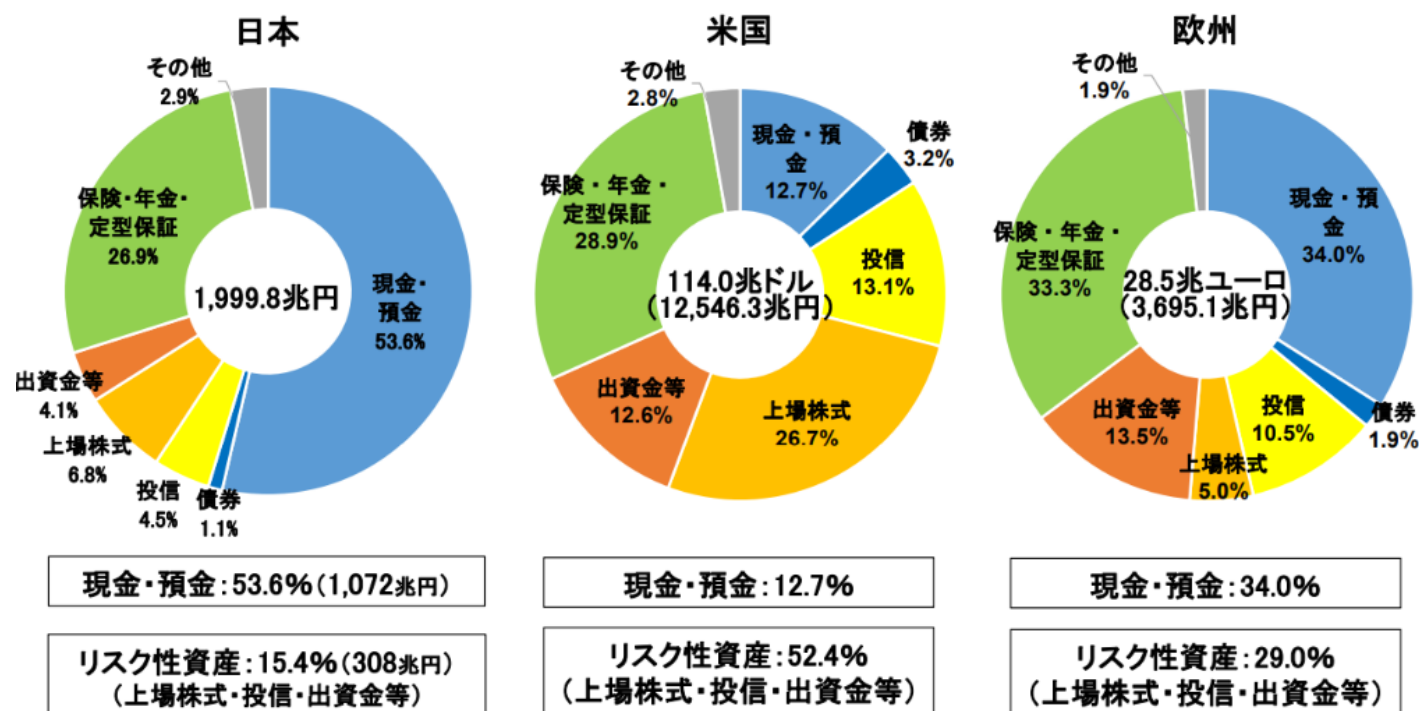
(社会保険への適切な理解と必要保障額の把握)

3. 相続時まで資産を持ちすぎ

⇒ 生前からの資産移転促進

(マネープランの見える化)

日本の家計金融資産は現預金偏重



(出所) 日本銀行、FRB、ECB (注) 1ドル=110円、1ユーロ=129.8円で換算

- 日本の家計金融資産は、半分以上が現預金
- 現預金は利回りが低いため、金融資産全体としてはあまり投資されておらず、リターンが低くなっている
- 日本の家計所得は、9割弱が勤労所得であり、財産所得は1割強にとどまっている
- ⇒ **家計金融資産の生産性を高めるとともに、人々からお金についての不安を取り除く必要性が高い**

出所：日本証券業協会「格差の国際比較と資産形成の課題について」（2022年2月）

(頭の体操) 家計に必要な現預金額は？

➤ 各家庭とも生活防衛資金だけあればよい？

✓ 日本の総世帯数は5,431万世帯（2022年）

● 生活費を25.1万円/月（2024年）

● 12ヶ月分を確保

とすると、 $5,431万 \times 25.1万円 \times 12ヶ月 = \mathbf{164兆円}$

➤ さらに、65歳以上世帯員のいる2,747万世帯（2022年）が老後資金として、1,000万円必要なら？

✓ $2,747万 \times 1,000万円 = \mathbf{274兆円}$

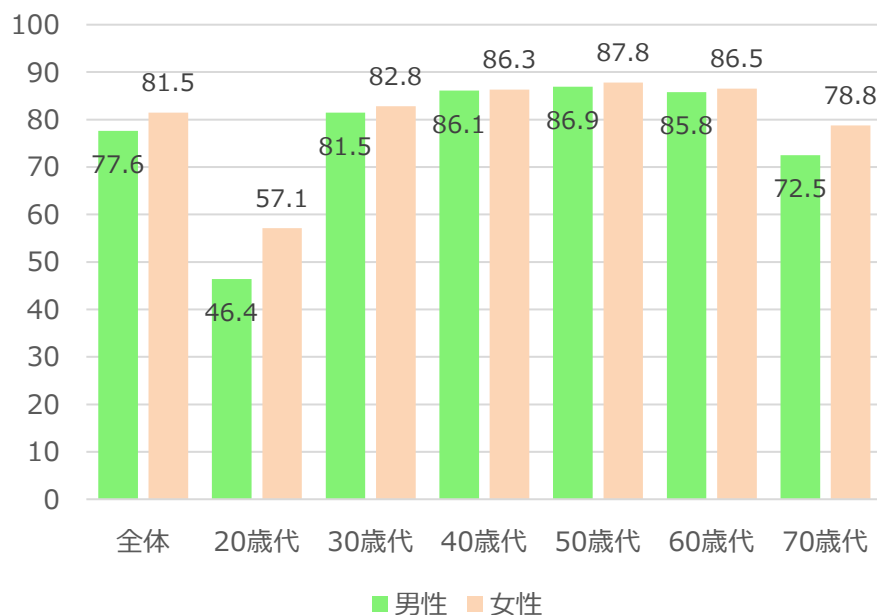
➤ 合計すると**438兆円**

➤ 現在の預貯金**1,116兆円**を踏まえると、さらに300～400兆円くらいは有価証券へシフトしてもおかしくないはずでは。

➤ **100兆円が利回り4%で運用できたら、年間4兆円。1世帯あたり年間約7.4万円の収入アップ（資産所得増加）に！**

民間生命保険に入り過ぎでは？

生命保険加入率（％、性別・年齢別）



（注）民間の生命保険会社や郵便局、JA（農協）、生協・全労済で取り扱っている生命保険や生命共済（個人年金保険やグループ保険、財形は除く）の加入率を示す。

<生命保険文化センター「生活保障に関する調査」／令和4年度>

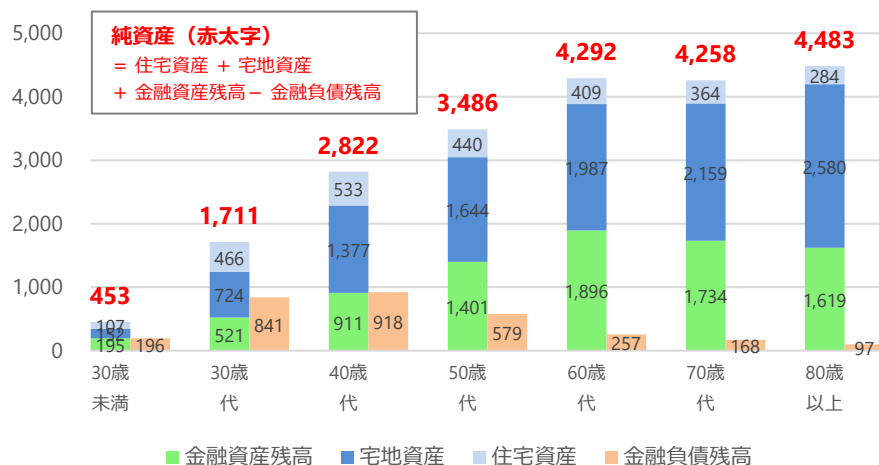
出所：sigma No 3/2024, SwissRe Institute より、
日本の生命保険料総額（2023年）40兆1032.8億円
日本の生命保険料シェア（2023年）9.6%
内閣府より、年次GDP実額595.2兆円（2023年度、名目）

- 日本では、国民皆保険、国民皆年金により**社会保険が充実**
- さらに会社員などの方は**職場の福利厚生**により、様々な付加給付もある状況にもかかわらず、民間の生命保険の世帯加入率は**約8割**。社会保険に対する**理解不足**？
- GDP(595兆円)の約6.7%が生命保険料
- 世界人口の1.6%である日本人が世界保険料全体の9.6%を支払っている？
- 真の保険需要に供給があってない？

⇒ **社会保険に対する適切な理解の徹底**と、公的（社会保険）、職場（福利厚生）を踏まえた**適切な自助**（民間保険の利用）

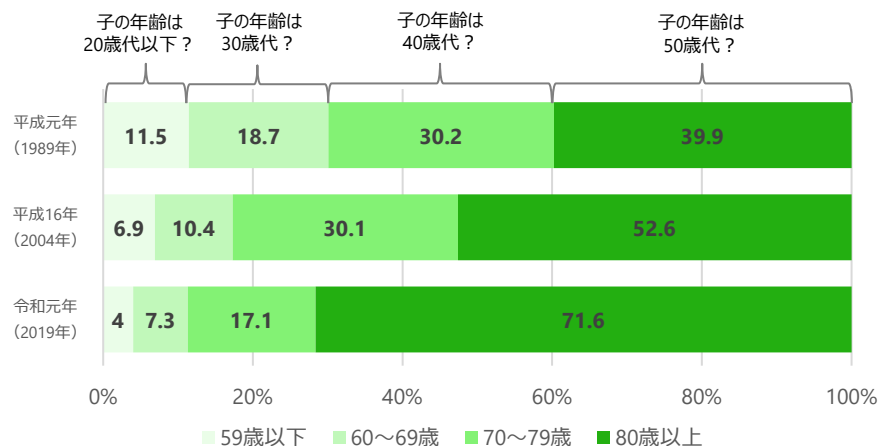
資産が高齢者に偏在しているのでは？

世帯主の年齢階級別家計資産構成（総世帯）（万円）



総務省「2019年全国家計構造調査」より

被相続人の死亡時年齢の構成比（相続税申告ベース）



出所：第27回 税制調査会（2023年6月30日）

- 漠然とした将来不安のため、金融資産、不動産を有効に活用できていないのでは？
- 日本は高齢者世帯ほど金融資産を多額に保有。長寿化に伴い相続が後ずれしており、相続人となる子供世帯が子育て等でお金がかかるにもかかわらず、資産移転が進んでいないのでは？
（相続対象となる親所有の平均資産額は4,743万円とも）

⇒ **お金が必要な人に、必要なタイミングで、必要なだけ移転していくことが必要なのでは？**

ファイナンシャル・ウェルビーイング実現に必要な
金融経済教育と家計関連データの見える化

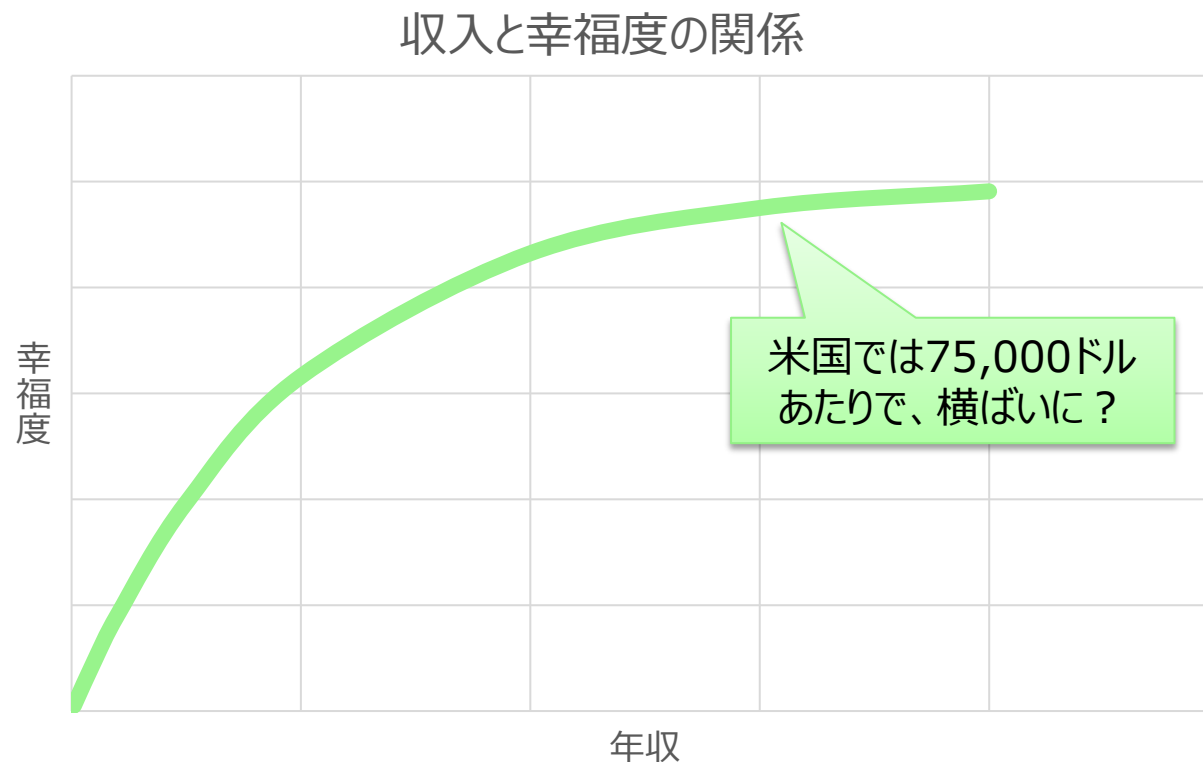
ファイナンシャル・ウェルビーイングについての動向

2023年5月以降、「ファイナンシャル・ウェルビーイング」というコンセプトの認知が高まっており、今後はますます広がっていく可能性が高い

年月	内容
2019年 5～6月	内閣府 ：「満足度・生活の質に関する調査」公表開始（ウェルビーイング・ダッシュボード） 閣議決定 ：「経済財政運営と改革の基本方針 2019」において、「人々の満足度（well-being）」という記載
2023年 5月	自民党 ：「日本Well-being計画推進特命委員会 第六次提言」に「ファイナンシャル・ウェルビーイング」が盛り込まれる
2023年 8月	金融庁 ：2023 事務年度金融行政方針において、金融経済教育推進機構（現J-FLEC）に関連して、「ファイナンシャル・ウェルビーイング」の記載
2024年 4月	J-FLEC 設立、そのミッションに「ファイナンシャル・ウェルビーイング」の記載 「私たちは、一人ひとりが描く ファイナンシャル・ウェルビーイング ※を実現し、自立的で持続可能な生活を送ることのできる社会づくりに貢献します。 ※ファイナンシャル・ウェルビーイング 自らの経済状況を管理し、必要な選択をすることによって、現在及び将来にわたって、経済的な観点から一人ひとりが多様な幸せを実現し、安心感を得られている状態」

収入が多いほど幸せなのか？

収入が増えるほど幸福度は上昇しますが、一定水準を超えると幸福度はそれほど上昇しなくなると言われています（個人差あり）



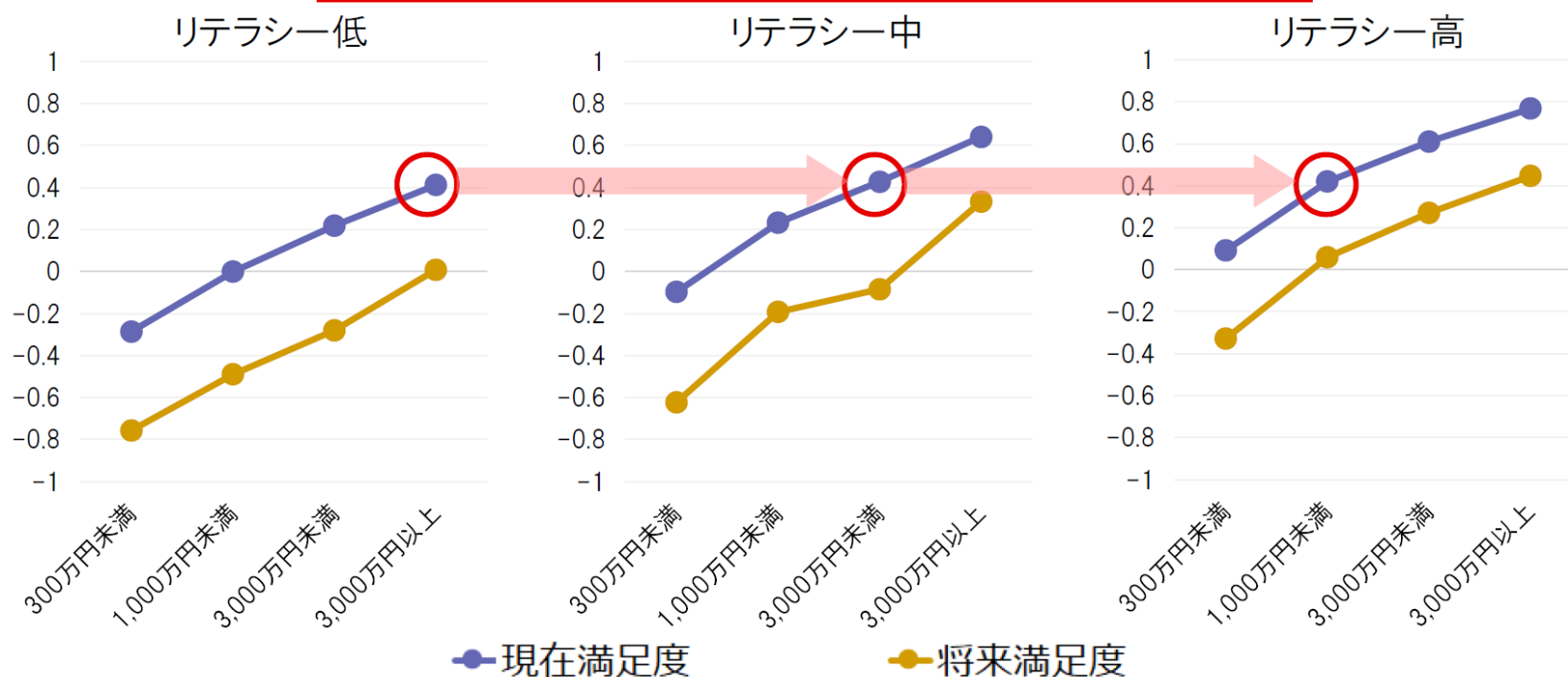
出所：ダニエル・カーネマン名誉教授（米国プリンストン大学）による研究をもとに、ウェルスパント作成

資産が多ければ幸せなのか？

資産が多いほど満足度は高くなる傾向に。ただし、同じ資産額でも金融リテラシーが高いほど経済的な満足度は高くなるという結果も。

金融リテラシー別・保有金融資産別の満足度

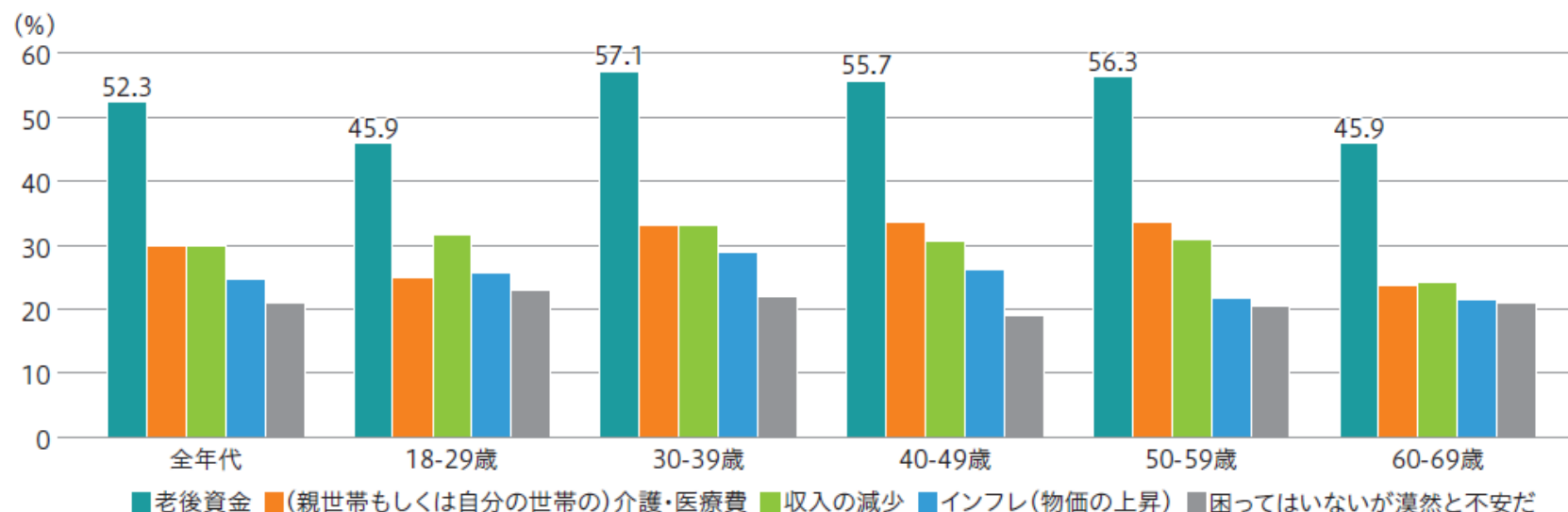
(回答者)企業勤務者 (n=7,303)



出所：MUFG資産形成研究所「フィナンシャル・ウェルビーイングと金融リテラシーとの関係」(2023年9月)

お金に関する不安の第一位は老後資金

お金に関する不安(複数回答可)※上位5項目



回答者数

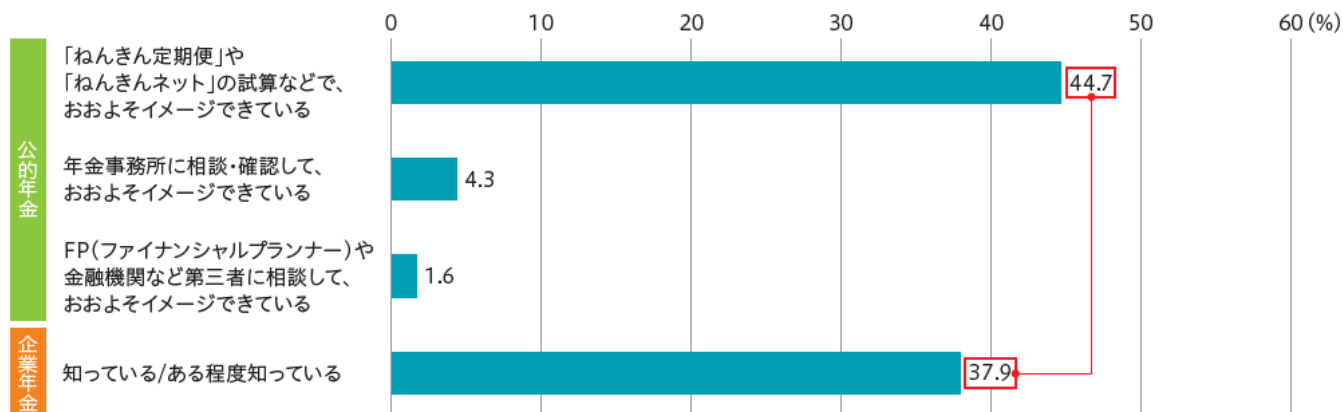
全年代	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳
11,190	2,071	1,923	2,498	2,504	2,194

出所:三井住友トラスト・資産のミライ研究所「住まいと資産形成に関する意識と実態調査」(2023年)

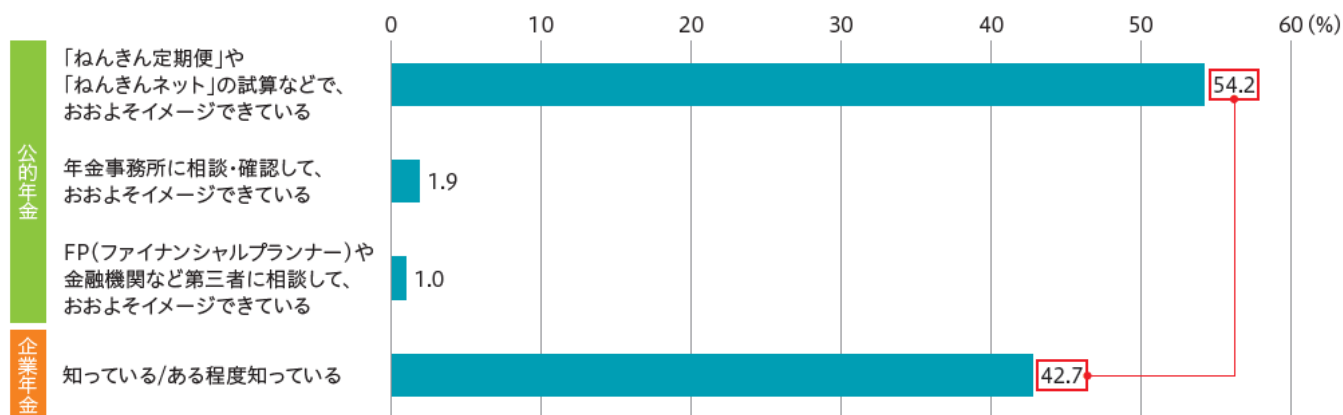
出所:三井住友トラストペンションジャーナル March 2024 No.13

老後資金の土台、年金についての理解が不十分

公的年金・企業年金の水準に関する認知度(全年代)



公的年金・企業年金の水準に関する認知度(50代)



出所: 三井住友トラスト・資産のミライ研究所「住まいと資産形成に関する意識と実態調査」(2023年)

年収300～700万円でファイナンシャル・ウェルビーイングが高い人は？

1. 金融教育を受けた経験がある人が相対的に多い
2. 1か月の**収支を把握**している人が多い
3. **ライフプラン**を立てている人が多い
4. **公的年金の水準感**をイメージできている人が多い
5. 将来設計をしており、適宜**外部にも相談**している人が相対的に多い
6. 一時的に収入が減少する場合に**備えて**、生活資金を準備できている人が多い
7. **資産形成**に取り組んでいる人が多い
8. リスク資産を保有している人が多い
9. 持ち家比率に大きな差はない

出所：三井住友信託銀行 三井住友トラスト・資産のミライ研究所(2024年5月)「「ファイナンシャルウェルビーイングと金融リテラシーに関する意識と実態調査」(2024年)より、年収が高いのにファイナンシャル ウェルビーイング度が低い人はどんな人？年収が低いのにファイナンシャル ウェルビーイング度が高い人はどんな人？」

目指すは、お金持ちより、ファイナンシャル・ウェルビーイング

WHO憲章における「健康」の定義（注：そもそも、ウェルビーイングとは？）

- 健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが**満たされた**状態にあることをいいます。（日本WHO協会訳）
- “Health is a state of complete physical, mental and social **well-being** and not merely the absence of disease or infirmity.”

ウェルビーイングの5つの要素（米ギャラップ社）

Career Well-Being	仕事：仕事、家事、趣味など日々の生活で最も時間を使うこと
Social Well-Being	人間関係：人生における強い関係性と愛情
Financial Well-Being	経済的：収入や資産状況などの経済的な面
Physical Well-Being	身体的：身体的な健康と成し遂げようとする意欲
Community Well-Being	地域社会：住んでいる地域コミュニティへの関与

ファイナンシャル・ウェルビーイングの実現には目標（自分が満たされたと感じる状態）の設定が必要

- ⇒ 「1億円だ！」「もっともっと！」では、いつまで経っても満たされません！
- ⇒ “**足るを知る**”、“等身大のライフ/マネープラン”が大切

ファイナンシャル・ウェルビーイングとは？

「当面の支払いを着実に行うことができ、将来のお金について安心しており、人生を楽しむためにお金の面で幅広い選択ができる状態」

“**financial well-being** can be defined as a state of being wherein a person can fully meet current and ongoing financial obligations, can feel secure in their financial future, and is able to make choices that allow enjoyment of life”

	現在	将来
安心感	①支出管理 毎日や毎月の支払いを管理できる	②ショック対応 金銭的なショックを吸収できる能力 (サポートの仕組み：親族・友人、貯蓄、保険など)
選択の自由度	③選択肢 人生を楽しむためにお金の面で幅広い選択ができること (ニーズに加えてウォンツ。友人・家族・コミュニティに対して寛容など。学び直しや働く時間を少なくするなど)	④将来見通し 金銭的な面での目標に向けて軌道に乗っていること (車やマイホーム、奨学金の返済、老後資金など)

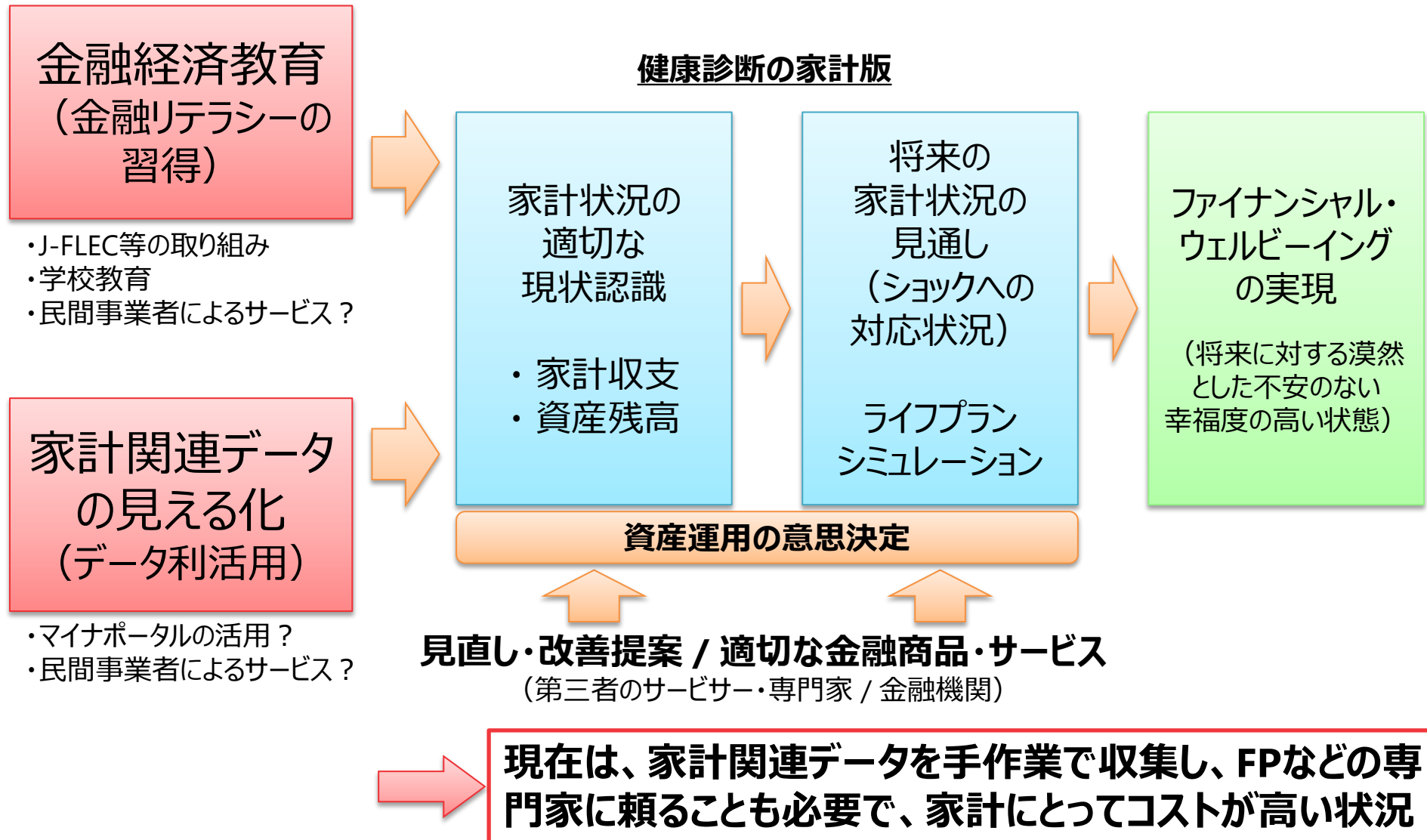
出所：“Financial well-being: The goal of financial education” (Consumer Financial Protection Bureau /消費者金融保護局, January 2015) なお、日本語はすべてウェルスパント訳。赤字はウェルスパント追記

ファイナンシャル・ウェルビーイングに向けた実践

	現在	将来
安心感	①支出管理 毎日や毎月の支払いを管理できる - 日々の支払いが見える化（家計簿アプリなど） - 家計状況を分析し改善策の検討、実施 - 必要に応じて、外部知見等を活用	②ショック対応 金銭的なショックを吸収できる能力 （サポートの仕組み：親族・友人、貯蓄、保険など） - どのようなサポートがあるかへの適切な理解（教育、ワークショップ等、コンサルティング） - サポートが足りない場合には手当（行動力）
選択の自由度	③選択肢 人生を楽しむためにお金の面で幅広い選択をできること （ニーズに加えてウォンツ。友人・家族・コミュニティに対して寛容など。学び直しや働く時間を少なくするなど） - 人生観、ライフプランを立ち止まって考える機会・習慣（教育、ワークショップ等） - 人生の選択肢を選ぶために必要な情報の提供（情報提供）	④将来見通し 金銭的な面での目標に向けて軌道に乗っていること （車やマイホーム、奨学金の返済、老後資金など） - 現在と将来のお金の見える化（家計収支、家計の資産残高確認/バランスシート作成、ライフプランシミュレーション） - その上で、分析して改善策の検討、実施

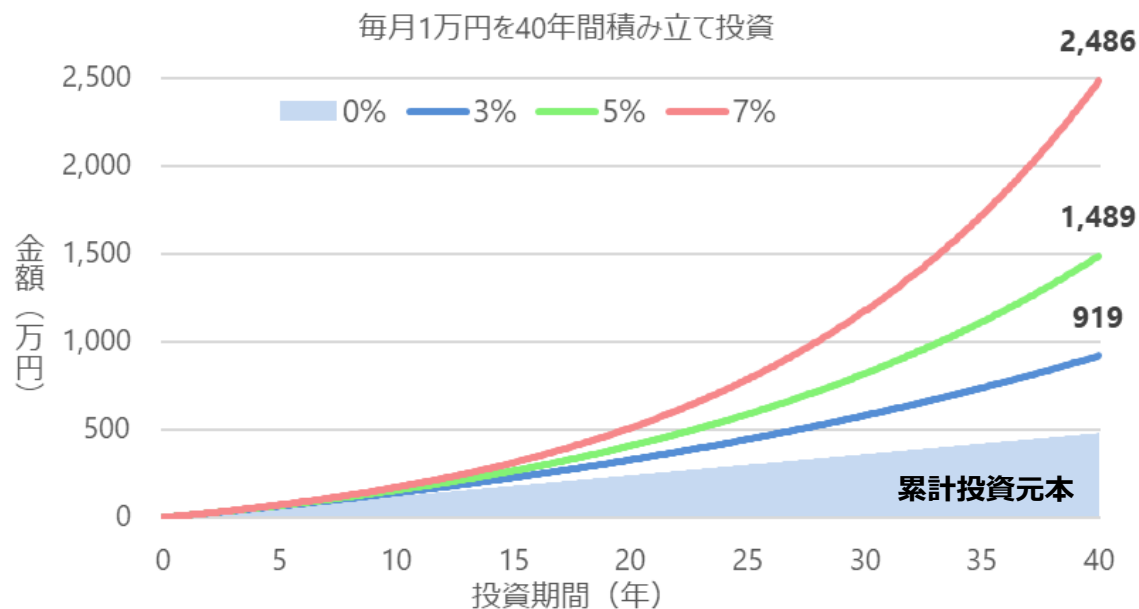
⇒ **金融リテラシー（知識、外部知見の活用していく力）が必要**

ファイナンシャル・ウェルビーイング実現への道のり



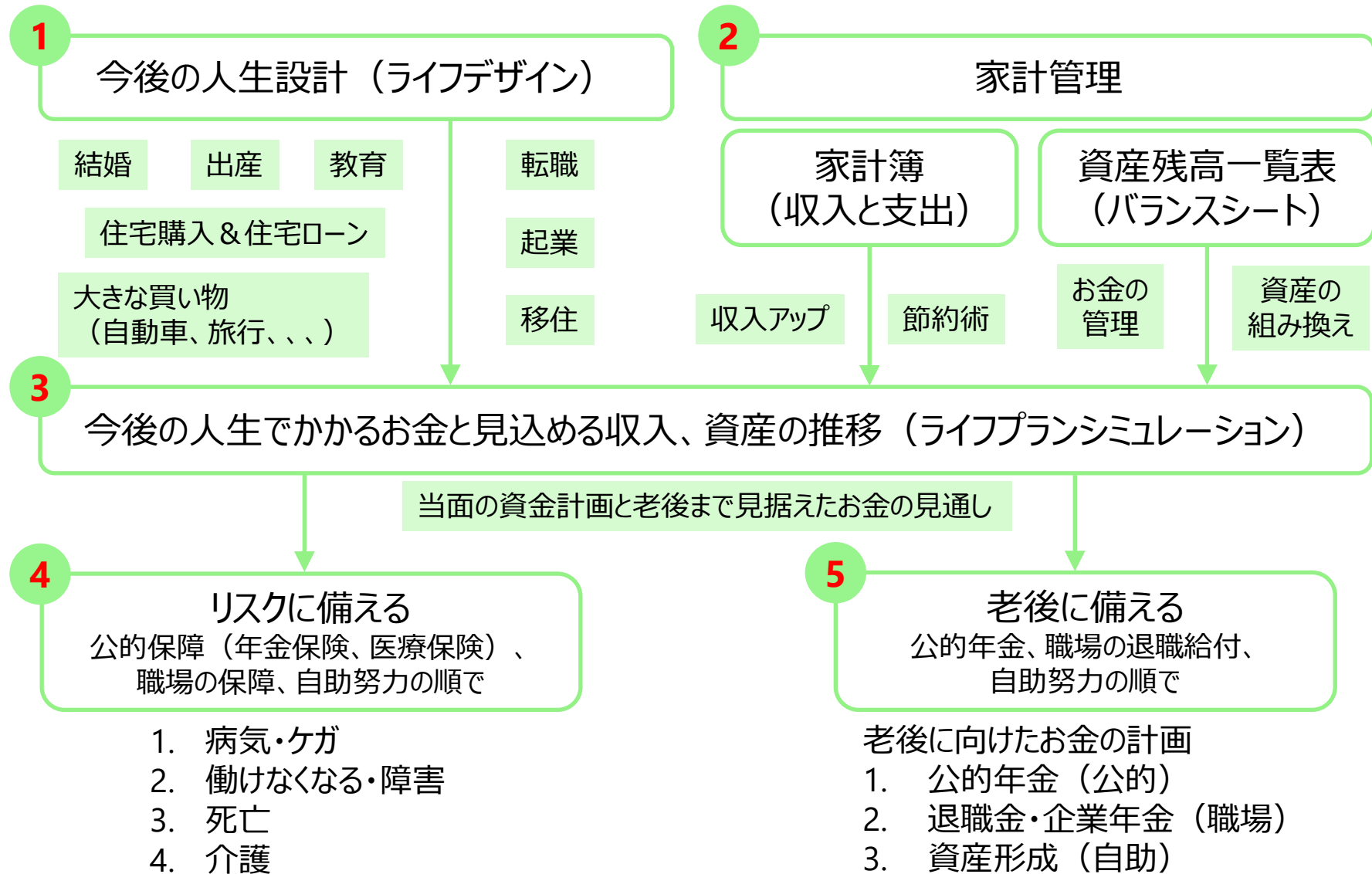
長期積立投資により発生しうる、将来の資産格差

- 前提：長期（20、30、40年）にわたり毎月1万円を積立投資
- 商品イメージ：世界株式インデックスファンド、利回り：0%、3%、5%、7%



利回り	20年後の評価額	30年後の評価額	40年後の評価額
0%	240万円	360万円	480万円
3%	約328万円 (+88万円)	約580万円 (+220万円)	約919万円 (+439万円)
5%	約407万円 (+167万円)	約819万円 (+459万円)	約1,489万円 (+1,009万円)
7%	約510万円 (+270万円)	約1,176万円 (+816万円)	約2,486万円 (+2,006万円)

ファイナンシャル・ウェルビーイング実現に向けたライフプランニング



何かあったらどうしよう?! という不安を減らす

将来への漠然とした不安を減らす spent

FW実現に向けて家計の見える化に必要な情報の例（1/2）

分類	主な項目
収入	- 給与明細（支給額、社会保険料、税等） - 資産収入（株式配当、不動産収入等） 等
収入 (ライフイベント関連)	- 出産育児一時金、出産手当金、育児休業給付金 - 幼児教育・保育の無償化 - 児童手当・児童扶養手当 - 高等学校等就学支援金（高校授業料無償化） 等
支出	支出項目と決済手段（クレカ、口座振替、QRコード、現金等）
補助金 ・助成金等	国、都道府県、市区町村等 - 子育てエコホーム支援事業 - 移住支援金 - 結婚新生活支援事業 等
資産・負債	- 金融資産 ✓ 預貯金、証券（NISA、特定、一般）、保険商品 ✓ 職場（財形貯蓄、持株会、社内預金等） - 不動産（マイホーム等） - 自動車、貴金属、美術品、ゴルフ会員権等 - 住宅ローン・教育ローン・自動車ローン 等

FW実現に向けて家計の見える化に必要な情報の例（2/2）

分類	共助 ・自助	主な項目
リスクに備える	共助	・ 公的年金保険（障害・遺族） ・ 公的医療保険（高額療養費、傷病手当金等） ・ 公的介護保険 等 ・ 職場の保障・福利厚生（弔慰金・遺児育英年金・健保付加給付等） 等
	自助	・ 民間保険 等
老後に備える	共助	・ 公的年金保険（老齢） ・ 退職給付制度（退職一時金、企業年金（DB、DC、厚年基金、中退共、特退共） 等）
	自助	・ iDeCo（個人型確定拠出年金） ・ 個人年金保険 ・ 国民年金基金 ・ 小規模企業共済

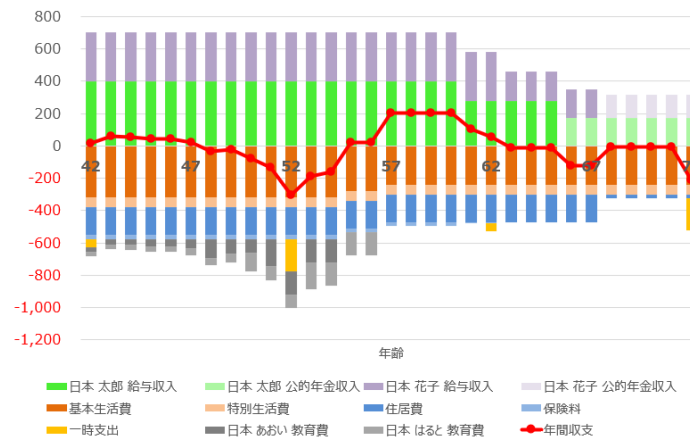
ライフプランシミュレーションの例

体の健康診断のように、
家計も定期的な
健康診断を！

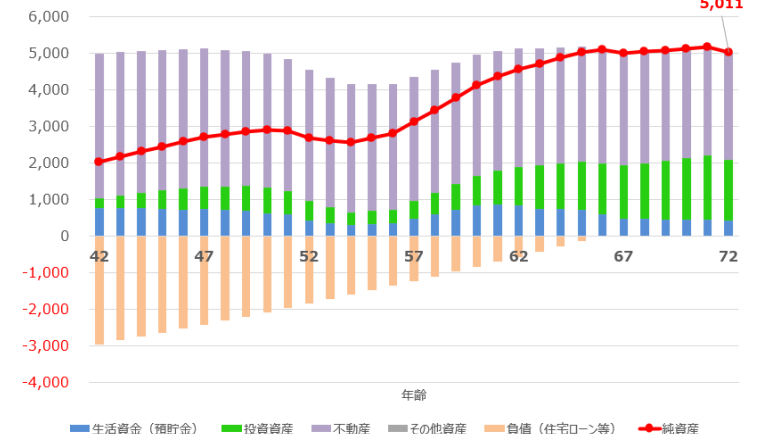
経過年数	現在	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
西暦		2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055
年齢																																
日本 太郎		42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72
日本 花子		40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
日本 あおい		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
日本 はると		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
マイホーム (マンション)		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
家計収支 (キャッシュフロー) の推移 (万円)																																
日本 太郎 給与収入		400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	280	280	280	280	280	0	0	0	0	0	0	0
日本 太郎 公的年金収入		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	171	171	171	171	171	171	171
日本 太郎 給与収入		300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	180	180	180	180	180	180	180
日本 花子 公的年金収入		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本生活費		-320	-320	-320	-320	-320	-320	-320	-320	-320	-320	-320	-320	-320	-280	-280	-240	-240	-240	-240	-240	-240	-240	-240	-240	-240	-240	-240	-240	-240	-240	-240
特別生活費		-60	-60	-60	-60	-60	-60	-60	-60	-60	-60	-60	-60	-60	-60	-60	-60	-60	-60	-60	-60	-60	-60	-60	-60	-60	-60	-60	-60	-60	-60	-60
住居費		-172	-172	-172	-172	-172	-172	-172	-172	-172	-172	-172	-172	-172	-172	-172	-172	-172	-172	-172	-172	-172	-172	-172	-172	-172	-172	-172	-172	-172	-172	-172
保険料		-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24
一時支出		-50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-200
日本 あおい 教育費		-31	-34	-37	-46	-44	-57	-116	-89	-85	-169	-144	-144	-144	-144	-144	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本 はると 教育費		-26	-29	-31	-34	-37	-46	-44	-57	-116	-89	-85	-169	-144	-144	-144	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年間収支		17	61	56	45	44	22	-35	-22	-77	-134	-305	-189	-164	20	20	204	204	204	204	102	52	-12	-12	-12	-121	-121	-9	-9	-9	-9	-209
資産残高 (バランスシート) の推移 (万円)																																
生活資金 (預貯金)	0.0%	800	758	754	739	722	744	709	687	610	596	411	343	299	320	340	464	588	713	837	859	832	740	728	716	596	475	466	457	448	439	430
投資資産	5.0%	200	270	344	421	502	587	616	647	679	713	629	540	447	350	367	386	485	589	699	814	934	1,061	1,194	1,254	1,316	1,382	1,451	1,524	1,600	1,680	1,764
不動産	-1.0%	4,000	3,960	3,920	3,881	3,842	3,804	3,766	3,728	3,691	3,654	3,618	3,581	3,546	3,510	3,475	3,440	3,406	3,372	3,338	3,305	3,272	3,239	3,207	3,174	3,143	3,111	3,080	3,049	3,019	2,989	2,959
その他資産		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
負債 (住宅ローン等)		-3,061	-2,959	-2,856	-2,751	-2,644	-2,536	-2,427	-2,315	-2,202	-2,088	-1,971	-1,853	-1,733	-1,611	-1,488	-1,362	-1,235	-1,106	-975	-842	-707	-569	-430	-289	-146	0	0	0	0	0	0
純資産		1,939	2,028	2,166	2,305	2,439	2,577	2,699	2,769	2,855	2,890	2,871	2,680	2,602	2,548	2,674	2,803	3,120	3,443	3,775	4,113	4,358	4,562	4,710	4,867	5,030	5,089	5,006	5,039	5,076	5,117	5,162
生活 投資 損替		60	60	60	60	60	60	0	0	0	0	-120	-120	-120	0	0	0	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	-200
DC事業主出金 / 奨励金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※一部のセルコメントで説明を記載していますので、ご確認ください。

家計収支 (キャッシュフロー) の推移 (万円)

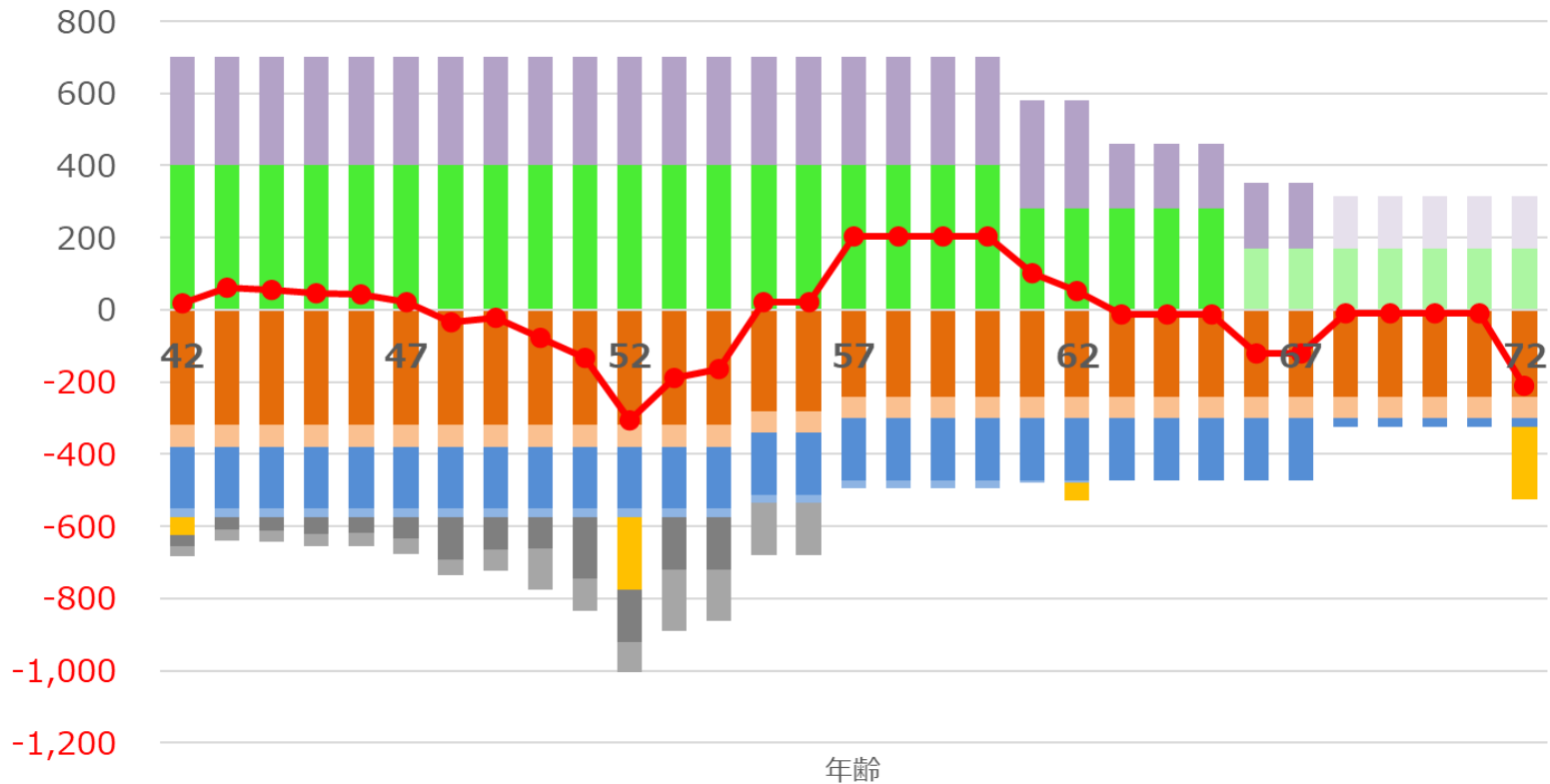


資産残高 (バランスシート) の推移 (万円)



ライフプランシミュレーション（家計収支、P/L）

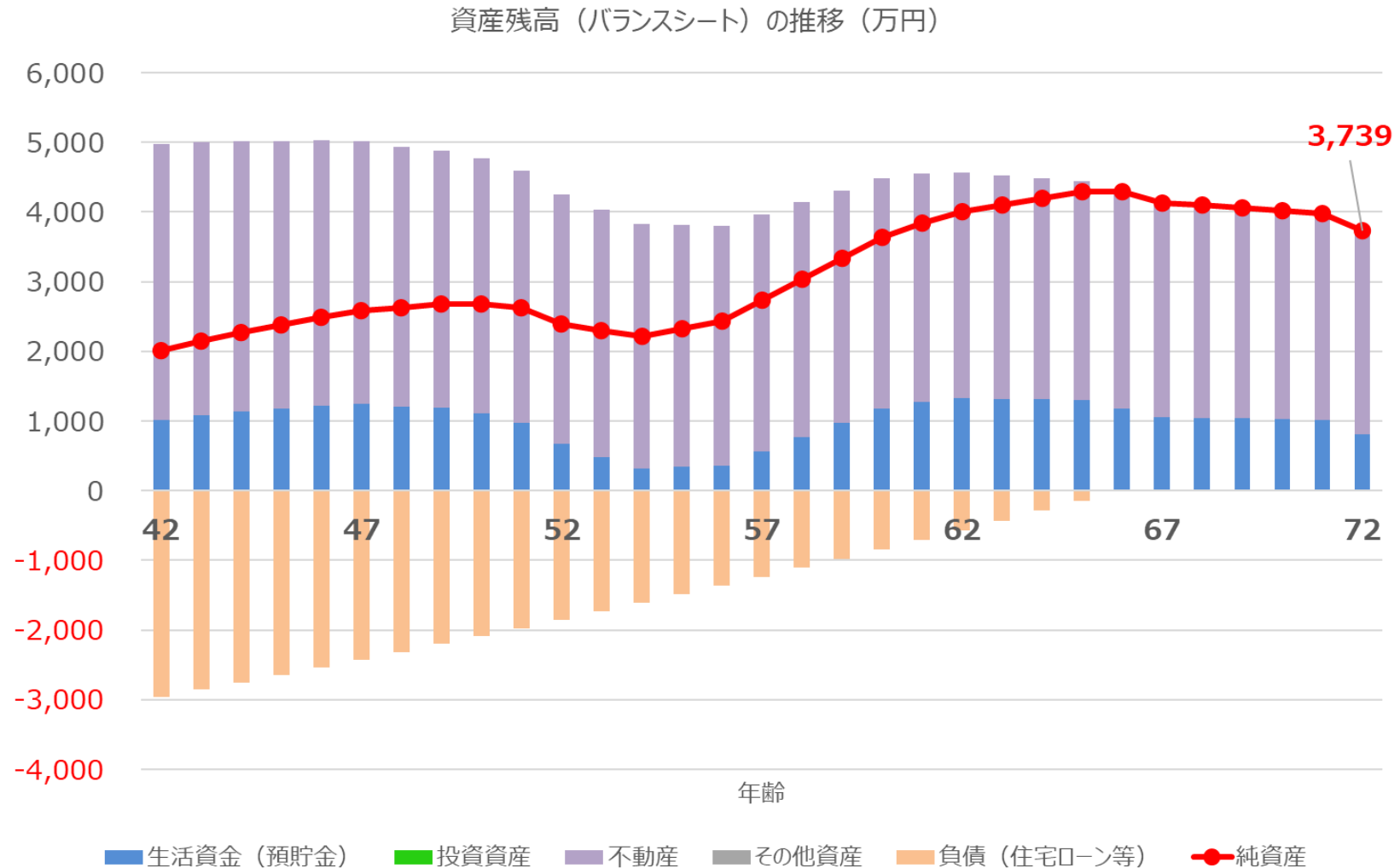
家計収支（キャッシュフロー）の推移（万円）



- 日本 太郎 給与収入
- 日本 太郎 公的年金収入
- 日本 花子 給与収入
- 日本 花子 公的年金収入
- 基本生活費
- 特別生活費
- 住居費
- 保険料
- 一時支出
- 日本 あおい 教育費
- 日本 はると 教育費
- 年間収支

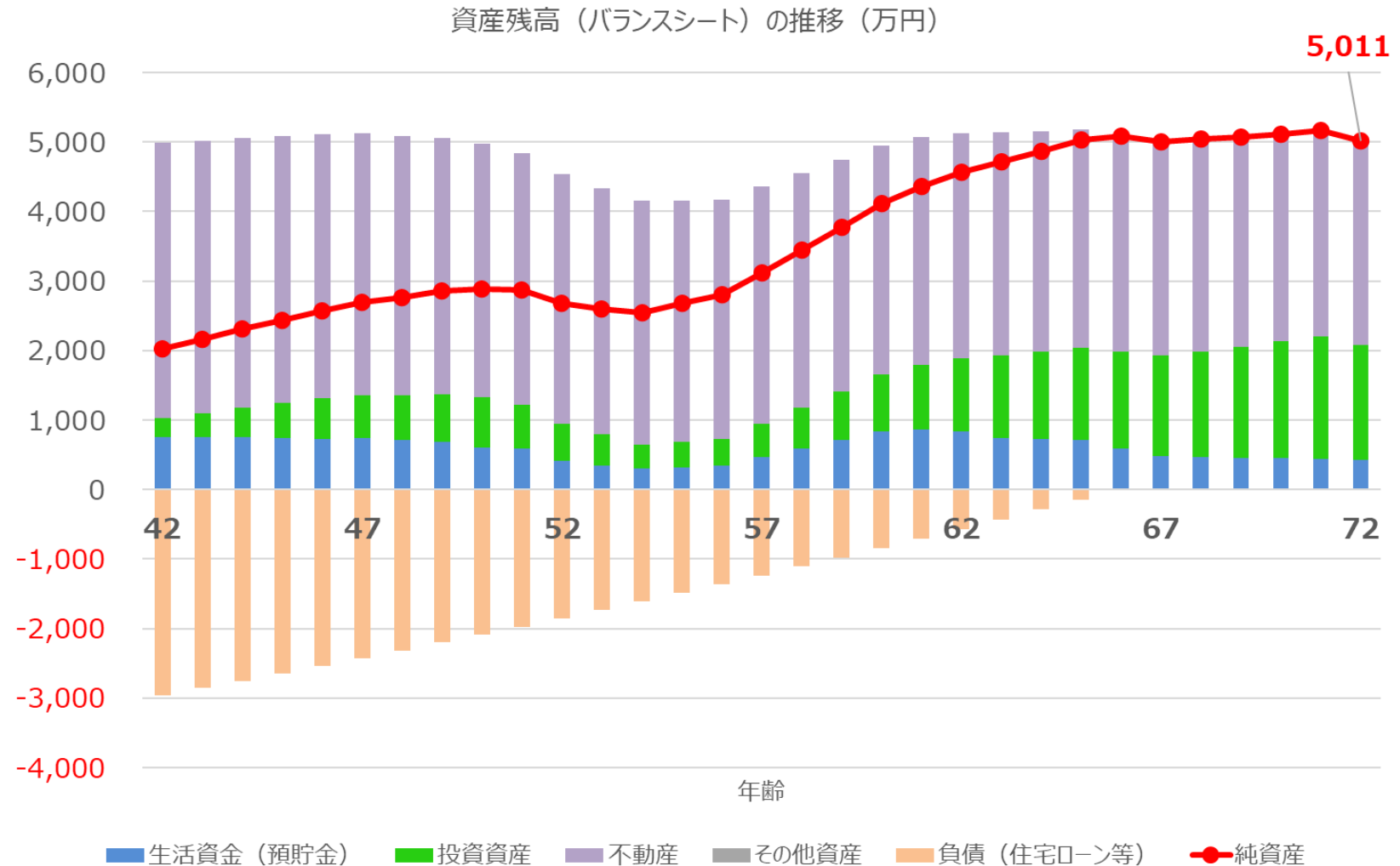
ライフプランシミュレーション（資産残高、B/S）

すべて預貯金（利回り 0%）



ライフプランシミュレーション（資産残高、B/S）

一部を利回り5%で運用



まとめ

- 収入や資産が多いほど幸福度は高い傾向。収入や資産が同じなら、金融リテラシーを高めることでも幸福度は上昇
- 家計の現状確認や将来見通しを立てるためには金融リテラシーが必要だが、そういった習得機会が十分にあるわけではなく、専門家等に頼らざるを得ない状況
- また家計関連データの収集が必要だが、全体的にデジタル化されておらず、手作業負担が大きい状況
- 金融経済教育の推進と家計関連データの見える化がフィナンシャル・ウェルビーイングの実現に大きな役割を果たすのではないか

Appendix

(参考) 金融リテラシー・マップ

(2023年6月改訂版)

金融リテラシー・マップ（2023年6月改訂版より一部抜粋、1/4）

分野	分類	若年社会人	一般社会人	高齢者
		生活面・経済面で自立する時期	社会人として自立し、本格的な責任を担う時期	年金収入や金融資産取り崩しが生活費の主な源となる時期
家計管理	家計管理	家計の担い手として適切に収支管理をしつつ、趣味や自己の能力向上のための支出を計画的に行える	家計を主として支える立場から家計簿などで収入支出や資産負債を把握管理し、必要に応じ収支の改善、資産負債のバランス改善を行える	リタイア後の収支計画に沿って、収支を管理し、改善のために必要な行動がとれる
生活設計	生活設計	選択した職業との両立を図る形でライフプランの実現に取り組んでいる ライフプランの実現のためにお金などの程度必要かを考え、計画的に貯蓄・資産運用を行える	環境変化等を踏まえ、必要に応じライフプランや資金計画、保有資産の見直しを検討しつつ、自分の老後を展望したライフプランの実現に向け着実に取り組んでいる 学校と連携しつつ、家庭内で子の金融教育に取り組む	リタイア後のライフプランについて、余暇の活用、家族や社会への貢献にも配慮した見直しを行っている 年金受取額等をベースとした生活スタイルに切り替え、心豊かに安定的な生活を過ごせるよう、堅実に取り組んでいる

出所：J-FLECホームページ「金融リテラシー・マップ 最低限身に付けるべき金融リテラシーの項目別・年齢階層別スタンダード」

https://www.j-flec.go.jp/wpimages/uploads/literacy_map.pdf

金融リテラシー・マップ（2023年6月改訂版より一部抜粋、2/4）

分野	分類	若年社会人	一般社会人	高齢者
		生活面・経済面で自立する時期	社会人として自立し、本格的な責任を担う時期	年金収入や金融資産取り崩しが生活費の主な源となる時期
金融知識及び金融経済事情の理解と適切な金融商品の利用選択	金融取引の基本としての素養	収集した情報を比較検討し、適切な消費行動をすることができる 金融商品を含む様々な販売・勧誘行為に適用される法令や制度を理解し、慎重な契約締結など、適切な対応を行うことができる 詐欺など悪質な者に狙われないよう慎重な契約を心掛ける		
			資産管理面で高齢者が必要とする基本的な知識を習得し、必要に応じて専門家に相談することができる	
	金融分野共通	金融商品の3つの特性（流動性・安全性・収益性）とリスク管理の方法、および長期的な視点から貯蓄・運用することの大切さを理解する お金の価値と時間との関係について理解する（複利、割引現在価値など） 景気の動向、金利の動き、インフレ・デフレ、為替の動きが、金融商品の価格、実質価値、金利(利回り)等に及ぼす影響について理解している		

出所：J-FLECホームページ「金融リテラシー・マップ 最低限身に付けるべき金融リテラシーの項目別・年齢階層別スタンダード」

https://www.j-flec.go.jp/wpimages/uploads/literacy_map.pdf

金融リテラシー・マップ（2023年6月改訂版より一部抜粋、3/4）

分野	分類	若年社会人	一般社会人	高齢者
		生活面・経済面で自立する時期	社会人として自立し、本格的な責任を担う時期	年金収入や金融資産取り崩しが生活費の主な源となる時期
金融知識及び金融経済事情の理解と適切な金融商品の利用選択	保険商品	自分自身が備えるべきリスクの種類や内容を理解し、それに応じた対応（リスク削減、保険加入等）を行うことができる 自動車事故を起こした場合、自賠責保険では賄えないことがあることを理解している		
		備えるべきリスクと必要な金額をカバーするために適切な保険商品を検討、選択し、家族構成や収入等の変化に応じた見直しを行うことができる		高齢期における保険加入の必要性・有効性や保険の種類を理解している
	ローン・クレジット	住宅ニーズを考慮したライフプランを描いている 現在とリタイア後の住宅ニーズを考慮したライフプランを着実に実行しつつある		リタイア後の生活の安定のために、必要に応じて負債と資産のバランスを見直せる
		住宅ローンの基本的な特徴を理解し、必要に応じ具体的知識を習得し返済能力に応じた借入を組むことができる		
		ローンやクレジットは資金を費消してしまいやすいことに留意する クレジットカードの分割払いやリボルビング払いには手数料（金利）負担が生じる点に留意する ローンやクレジットの返済を適切に履行しない場合には、信用情報機関に記録が残り、他の金融機関等からも借入等が難しくなることを理解する		

出所：J-FLECホームページ「金融リテラシー・マップ 最低限身に付けるべき金融リテラシーの項目別・年齢階層別スタンダード」

https://www.j-flec.go.jp/wpimages/uploads/literacy_map.pdf

金融リテラシー・マップ（2023年6月改訂版より一部抜粋、4/4）

分野	分類	若年社会人	一般社会人	高齢者
		生活面・経済面で自立する時期	社会人として自立し、本格的な責任を担う時期	年金収入や金融資産取り崩しが生活費の主な源となる時期
金融知識及び金融経済事情の理解と適切な金融商品の利用選択	資産形成商品	自らの生活設計の中で、どのように資産形成をしていくかを考えている		
		リスクとリターンとの関係を踏まえ、求めるリターンと許容できるリスクを把握している 長期・積立・分散投資のメリットを理解し、活用している		自ら理解できない商品への投資はしない ノーリスク・ハイリターンをうたう金融商品に疑いをもつことができる 年齢やライフスタイルなどを踏まえ、投資対象の配分比率を見直す必要があることを理解している
外部の知見の適切な活用	外部の知見の適切な活用	金融商品を利用する際に相談等ができる適切な機関等を把握する必要があることを認識している 金融商品を利用するに当たり、外部の知見を適切に活用する必要があることを理解している 金融商品の利用の是非を自ら判断するうえで必要となる情報の内容や、相談しアドバイスを求められる適切で中立的な機関・専門家等を把握し、的確に行動できる		

出所：J-FLECホームページ「金融リテラシー・マップ 最低限身に付けるべき金融リテラシーの項目別・年齢階層別スタンダード」

https://www.j-flec.go.jp/wpimages/uploads/literacy_map.pdf

(参考) 従業員の方からのFP相談

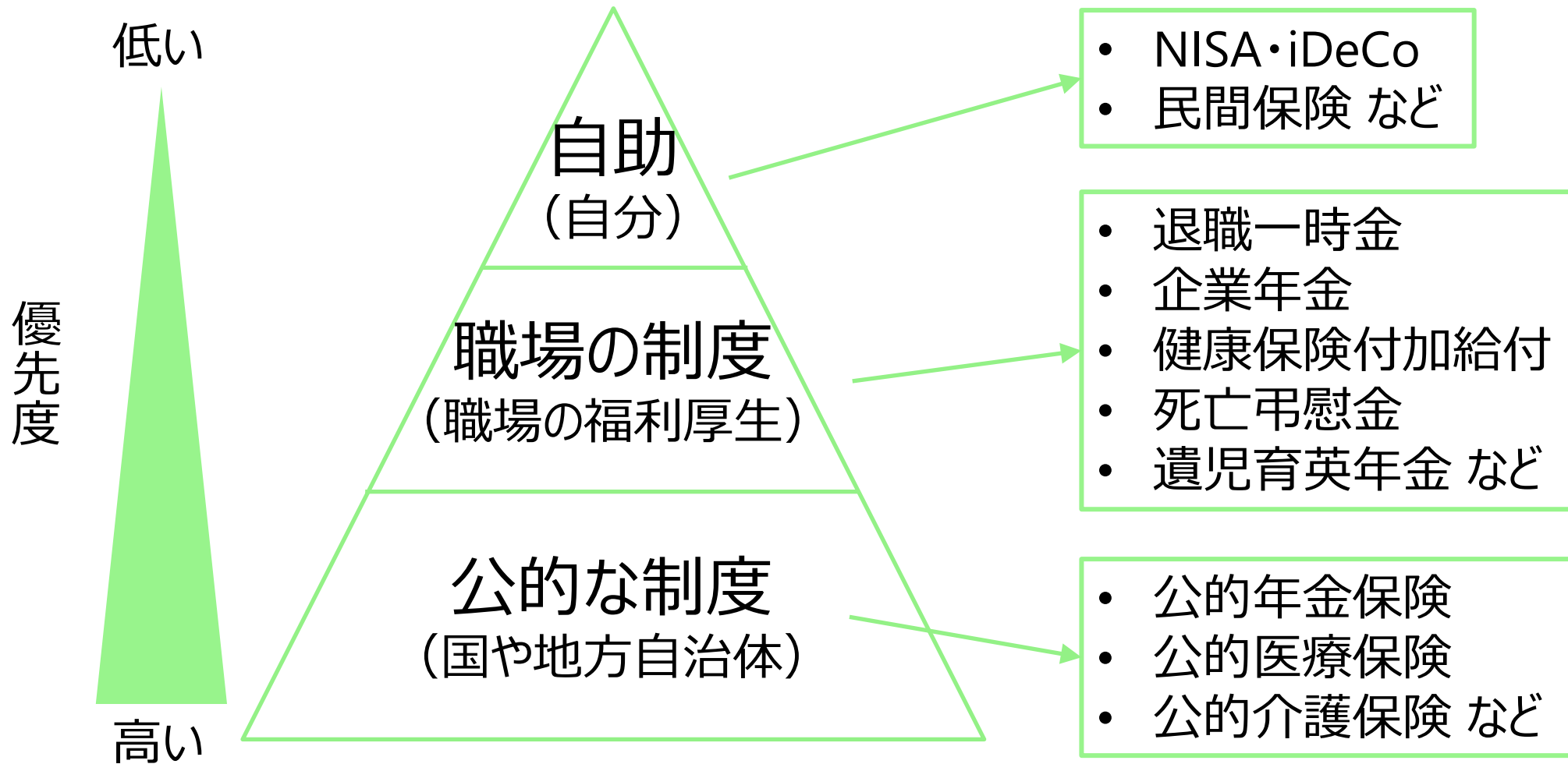
従業員はわかっていない（FP相談の現場）

従業員が抱えている疑問・不安の例

- 老後に年金はどこから、いくらもらえるのだろうか。
- 退職金はもらえるのだろうか。いくらぐらいだろうか。
- 家計の担い手に万が一のことが起きたら、どうなるのだろうか。
- 家計の担い手が働けなくなったら、どうなるのだろうか。
- 病気やケガをしたら治療費がたくさんかかるのではないだろうか。

**→ 公的保険や職場の給付・保障（福利厚生）が
理解されていないのでは？**

老後資金やリスク対策は国、職場、自分の順で



理解不足によるファイナンシャル・ウェルビーイングの低下？

①

公的な制度、
職場の制度への
理解不足

④

家計が苦しくなり、
ファイナンシャル
・ウェルビーイング
の低下？

②

さまざまな
リスクに対して
漠然とした不安

③

不安解消のために、
民間保険への加入？

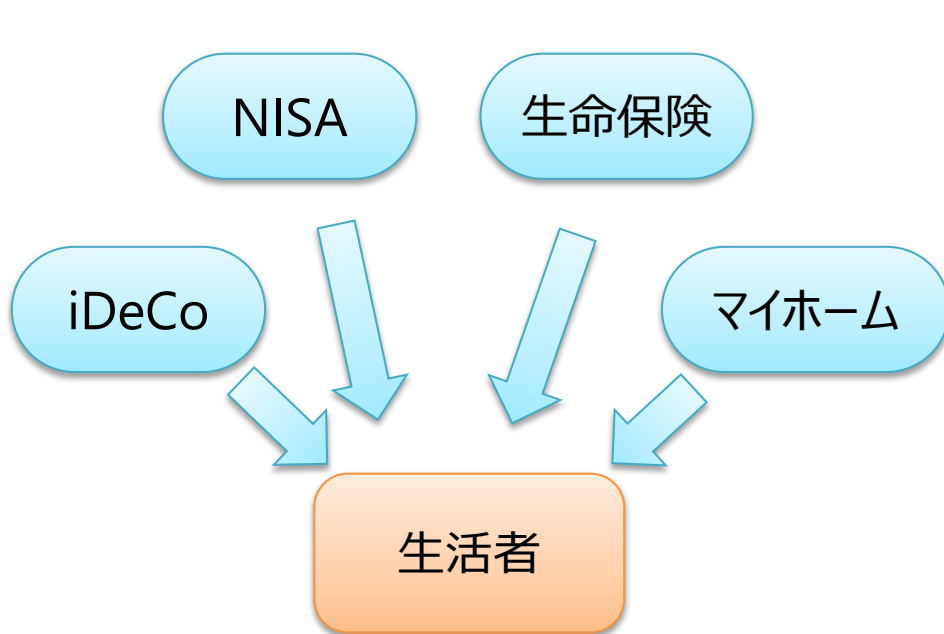
- 伝えていますか？
- 伝わっていますか？

→ 職場の制度はもちろん、公的な制度についても総合的に伝えていくことが大切

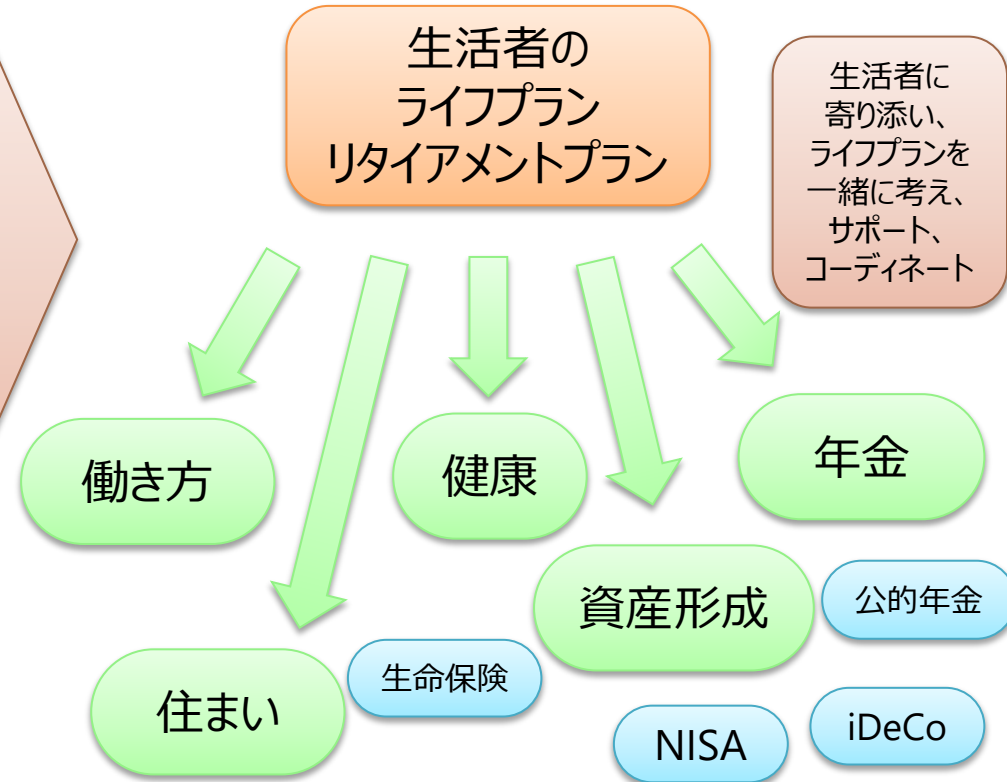
→ まずは既存の制度をしっかりと伝えることが大切

資産形成を自分ごとに

現状は
明確なライフプランがないまま
個別商品・サービスを検討



あるべき姿は
自分（ライフプラン）が主役
必要な商品・サービスを取捨選択



(参考) ファイナンシャル・ウェルビーイング検定

「ファイナンシャル・ウェルビーイング検定」の受験要綱

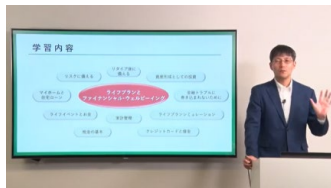
実施形態	WEB講座＋WEB試験
実施時期	お好きなタイミングで受験できます。 ご決済から90日間で、WEB解説講義の受講・WEB検定の受験を完了してください。 Web試験に不合格となった場合でも、受講期間中であれば何度でも受験できます。
受験資格	特になし。どなたでもご受験いただけます。
出題科目	① ファイナンシャル・ウェルビーイングとライフプランニング ② 家計管理(収入、支出、資産残高) ③ 税金と社会保険の基本 ④ クレジットカードとローン ⑤ ライフプランシミュレーション ⑥ リスク管理と保険 ⑦ 公的年金と企業年金 ⑧ 資産形成としての投資
試験形態	出題問題数：50問／試験時間：40分（三肢択一）
配点	1問2点（計100点）
合格基準	出題問題のうち、7割以上の得点獲得を合格基準とします。 合格者には『認定証』を発行します。
受験料	22,000円（税込）（WEB講座、WEB試験、テキスト等の資料一式を含みます） 企業様向け「団体受験制度」による割引あり
URL	https://financial-well-being.jp/

ファイナンシャル・ウェルビーイング検定 収録コンテンツ

1. ライフプランとファイナンシャル・ウェルビーイング
2. ライフイベントとお金
3. 家計管理(1-1):収入(家計のP/L)会社員:給与明細の見方
4. 家計管理(1-2):収入(家計のP/L)個人事業主:確定申告書
5. 家計管理(2):支出(家計のP/L)
6. 家計管理(3):資産残高(家計のB/S)
7. 税金の基本:所得税と住民税
8. クレジットカードと借金
9. マイホームと住宅ローン
10. ライフプランシミュレーション

11. リスクに備える(1):リスク管理の基本
12. リスクに備える(2):公的保険
13. リスクに備える(3):死亡リスクに備える考え方
14. リタイア後に備える(1):公的年金
15. リタイア後に備える(2):企業の退職給付制度(退職金と企業年金)
16. リタイア後に備える(3):自分で備える
17. 資産形成としての投資(1):基礎
18. 資産形成としての投資(2):投資信託の仕組み、低コストと複利の効果
19. 資産形成としての投資(3):NISAとiDeCo
20. 金融トラブルに巻き込まれないために
21. ファイナンシャル・ウェルビーイング実現に向けて

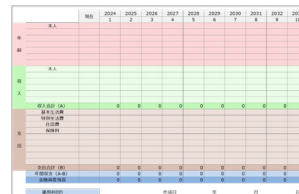
- ◎ スキマ時間の活用など、いつでもどこでも学習・受験できる「Web講義+Web試験のオンライン完結型」
- ◎ わかりやすさを重視した各章ごとの解説動画視聴と詳細な別冊テキスト、豊富な演習問題で自然と実践的な力が身に付くスタイル
- ◎ 試験はお申込みから90日間に任意のタイミングでいつでも受験可能&期間中に何度でもトライできます
- ◎ 合格者には《認定証》を発行



21章 約6時間強の
WEB講義



WEB講義の内容と連動した
約200ページの対策講座テキスト



ライフプランシミュレーション
シート (Excel、PDF、印刷物)



スライド集



認定証(イメージ)

CFPBによるファイナンシャル・ウェルビーイングの定義

「当面の支払いを着実に行うことができ、将来のお金について安心して
おり、人生を楽しむためにお金の面で幅広い選択ができる状態」

	現在	将来
安心感	①支出管理 毎日や毎月の 支払いを管理できる	②ショック対応 金銭的なショックを 吸収できる能力
選択の 自由度	③選択肢 人生を楽しむために お金の面で幅広い 選択ができること	④将来見通し 金銭的な面での 目標に向けて 軌道に乗っていること

ファイナンシャル・ウェルビーイング実現に向けたコンテンツ設計

- ④ → 1. ライフプランとファイナンシャル・ウェルビーイング
- ③④ → 2. ライフイベントとお金
- ① {
 - 3. 家計管理（1－1）：収入（家計のP/L）会社員：給与明細の見方
 - 4. 家計管理（1－2）：収入（家計のP/L）個人事業主：確定申告書
 - 5. 家計管理（2）：支出（家計のP/L）
- ②③ → 6. 家計管理（3）：資産残高（家計のB/S）
- ① → 7. 税金の基本：所得税と住民税
- ①③ → 8. クレジットカードと借金
- ③④ {
 - 9. マイホームと住宅ローン
 - 10. ライフプランシミュレーション
- ② {
 - 11. リスクに備える（1）：リスク管理の基本
 - 12. リスクに備える（2）：公的保険
 - 13. リスクに備える（3）：死亡リスクに備える考え方
- ④ {
 - 14. リタイア後に備える（1）：公的年金
 - 15. リタイア後に備える（2）：企業の退職給付制度（退職金と企業年金）
 - 16. リタイア後に備える（3）：自分で備える
- ②③ {
 - 17. 資産形成としての投資（1）：基礎
 - 18. 資産形成としての投資（2）：投資信託の仕組み、低コストと複利の効果
 - 19. 資産形成としての投資（3）：NISAとiDeCo
- ② → 20. 金融トラブルに巻き込まれないために
- ④ → 21. ファイナンシャル・ウェルビーイング実現に向けて

①支出管理、②ショック対応、③選択肢、④将来見通し

試験問題例

A～Cのうち、公的保険による保障に関する記述として、最も適切なものはどれか？

- A) 公的保険には、日々の生活を送る上で病気やけが、障害、死亡、老齢、失業、就労不能といったリスクから守ってくれるものとして、公的医療保険、公的年金保険、公的介護保険、労災保険（労働者災害補償保険）、雇用保険の5つがある。
- B) 病気やけがの際に公的医療保険から支給される傷病手当金は、社会保険に加入している会社員や公務員、国民健康保険に加入している個人事業主に支給されるものである。
- C) 高額療養費制度においては、自己負担額が年収区分によって分けられているが、療養期間の長さによって自己負担額が変わることはない。

試験問題例

金融詐欺に引っかからないために日頃から意識しておくべきこととして、不適切なものは次のうちどれですか。

- A) 金銭を振り込んだり、メールフォームに入力したり、ATMに行ったりと何らかの行動を起こすときには自分だけで判断せず、身近な家族などに相談する
- B) SNSなどに表示される広告は、厳格な審査を通過したものであるから、信頼して取引を開始してもよい
- C) 定期的に通帳の記帳をしたり、クレジットカードの利用履歴を確認し、覚えのない履歴は速やかに銀行やカード会社へ問い合わせる

試験問題例

次の地位財や非地位財についての記載のうち、最も適切なものはどれですか。

- A) 地位財は、他人との比較によって初めて価値を感じ、満足が得られる財のことである。
- B) マイホームや高級車といった地位財を購入した際に得られる幸福感は長続きする傾向があると言われている。
- C) 商品を購入するモノ消費の方が、経験や体験を購入するコト消費よりも、満足感が長続きすると言われている。

免責事項

本資料に掲載している事項は、情報の提供のみを目的としており、証券その他の金融商品の取引の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料は、作成時点において、信頼できると判断する情報から作成しており、その内容の正確性には万全を期しておりますが、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。